

『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2018』

～コンクリート構造物の健康寿命を考える～



のご案内

我が国のコンクリート構造物は確実に劣化が進み、直ちに対策が必要なものも少なくありません。それらに対して適切な調査・診断・補修設計・補修工事を行うことは急務であり、維持管理に関わる技術者の責務です。将来的な維持管理のあり方に予防保全の考え方を導入することにより、想定される費用は大幅に減額できるとも言われるようになりました。フォーラムでは予防保全と事後保全の双方の観点に立ち、コンクリート構造物の健康寿命を延ばすための維持管理に関する基本概念、そして適切な補修・補強に関する各種維持管理技術を紹介します。

ご多忙中とは存じますが奮ってご参加いただきたくご案内申し上げます。

※ 本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(5.5単位)

記

- 日 時：平成30年8月2日（木）10：00～16：30
- 会 場：プラザおでって 3F おでってホール（盛岡市）
- プログラム
 - 第一部 講師 小山田 哲也（博士(工学) 岩手大学 准教授
理工学部 社会環境工学科 社会基盤・環境コース）
演題 『岩手の過酷な寒冷環境下のコンクリート構造物の
耐久性向上にむけた実践的取組み』
 - 第二部 講師 小野 修司（ランデス(株)）
演題 『エコボックス擁壁』
 - 第三部 講師 石村 玄二（(株)高環境エンジニアリング）
演題 『ブランチブロック』
 - 第四部 講師 江良 和徳（博士(工学) コンクリートメンテナンス協会技術委員長）
演題 『コンクリート構造物の劣化と補修技術』
 - 第五部 講師 下枝 博之（StoCretec Japan(株)、(株)ナスキー）
演題 『ポリマーセメントモルタル乾式吹付工法を用いた補修・耐震補強技術』
 - 第六部 講師 植田 健介（(株)ビービーエム）
演題 『コンクリート橋の維持・補修について』
 - 第七部 講師 稲富 芳寿（博士(工学) 高耐力マイクロパイル研究会 理事）
演題 『既設構造物の健康寿命を延ばす基礎補強技術』
 - 第八部 講師 内田 哲男（大豊建設(株)）
演題 『コンクリート地下構造物の築造技術 —ニューマチックケーソン工法—』
- 主 催：一般社団法人コンクリートメンテナンス協会 東北地区連絡協議会
- 共 催：ブランチブロック工法協会、全国ボックスウォール協会、日本コンクリート補修・補強協会
- 後 援：【国・地方公共団体】国土交通省東北地方整備局、岩手県【学会・協会】(公社)土木学会東北支部、(公社)日本技術士会東北本部、(公社)日本コンクリート工学会東北支部、(一社)岩手県建設業協会、宮城県コンクリート診断士会【マスコミ】(株)日本建設新聞社仙台総局、(株)建設新聞社岩手支局、(株)日刊岩手建設工業新聞社
- 参加申込
 - 1)申 込 先：(一社)コンクリートメンテナンス協会のホームページより該当の盛岡フォーラムへお申込下さい。
 - 2)定 員：200名

3)参加費：無料

■配布資料：(一社)コンクリートメンテナンス協会のホームページの講演レジュメ PDF2018 より盛岡フォーラムの資料を印刷してお持ちください。

※参加希望が多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～

■講師プロフィール

氏名： 小山田 哲也 (おやまだ てつや)

岩手大学 准教授 博士 (工学)

理工学部 社会環境工学科 社会基盤・環境コース

経歴： 1996年3月 岩手大学 工学部 建設環境工学科 卒業

2001年3月 岩手大学大学院 工学研究科

精算開発工学専攻修了

2001年～2003年 株式会社ピーエス 技術研究所研究員

2003年～2007年 岩手大学 工学部 建設環境工学科助手

2009年～2012年 岩手大学 工学部 社会環境工学科助教

2012年～継続 岩手大学 工学部 社会環境工学科准教授

2013年～2013年 University of California Berkeley 客員研究員

現在にいたる。

専門分野： 建設材料学、コンクリート構造工学、道路工学

資格： 技術士

所属学会：土木学会 (フェロー会員)、日本コンクリート工学会

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～

氏名： 小野 修司 (おの しゅうじ)

所属： ランデス株式会社 技術部 企画開発グループ

業務内容： コンクリート製品の企画開発

資格： 一級土木施工監理技士、コンクリート技士

協会活動： 全国ボックスウォール協会、ロードプラス研究会など

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～

氏名： 石村 玄二 (いしむら げんじ)

所属： ブランチブロック工法協会 理事

株式会社高環境エンジニアリング 建設事業部 技術部長

業務内容： 土木構造物全般、技術開発等

資格： 技術士 (建設部門)、一級土木施工監理技士、一級建築施工監理技士、

コンクリート主任技士、プレストレストコンクリート技士

所属学会： 農業農村工学会

協会活動： ブランチブロック工法協会、インフラメンテナンス国民会議など



会場のご案内



【盛岡市観光文化交流センター(プラザおでっ)】

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1番10号

TEL : 019-604-3300 FAX : 019-653-4417

<http://www.odette.or.jp/>

※専用駐車場はございませんので、近隣駐車場を自己負担にてご利用ください。

【バスのご案内】

- ・JR 盛岡駅前バスのりば⑥のりばから「盛岡バスセンター行き」に乗車
- ・JR 盛岡駅前バスのりば⑯のりばから「盛岡都心循環バスでんでんむし左回り」に乗車

いずれも「盛岡バスセンター」下車、徒歩2分です

次 第

一、 開会のことば

一、 来賓挨拶(10：00～10：05)

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所長 佐近 裕之 様

一、 講 演

第一部(10：05～11：05)：演題『岩手の過酷な寒冷環境下のコンクリート構造物の
耐久性向上に向けた実践的取
組み』

講師 小山田 哲也(博士(工学) 岩手大学 准教授 理工学部
社会環境工学科 社会基盤・環境コース)

第二部(11：05～11：35)：演題『エコボックス擁壁』

講師 小野 修司(ランデス株)

第三部(11：35～12：05)：演題『ランチブロック』

講師 石村 玄二((株)高環境エンジニアリング)

昼 休 憩 (12：05～13：00)

第四部(13:00～14:00)：演題『コンクリート構造物の劣化と補修技術』

講師 江良 和徳 (博士(工学) コンクリートメンテナンス協会技術
委員長)

第五部(14:00～14:30)：演題『ポリマーセメントモルタル乾式吹付工法を用いた補修・耐震補強技術』

講師 下枝 博之 (StoCretec Japan 株式会社)、(株)ナスキー)

第六部(14:30～15:00)：演題『コンクリート橋の維持・補修について』

講師 植田 健介 ((株)ビービーエム)

休 憩 (15:00～15:05)

第七部(15:05～16:05)：演題『既設構造物の健康寿命を延ばす基礎補強技術』

講師 稲富 芳寿 (博士(工学) 高耐力マイクロパイル研究会 理事)

第八部(16:05～16:30)：演題『コンクリート地下構造物の築造技術

—ニューマチックケーソン工法—』

講師 内田 哲男 (大豊建設(株))

一、閉会のことば